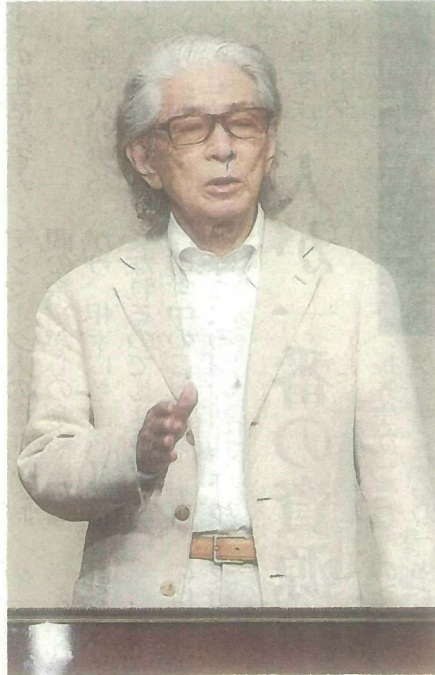


「金沢は作家生活の故郷」

テーマは「金沢の住まいと暮らし」。五木さんは福岡県出身で、大学生だった一九五三年に初めて金沢を訪れた。滞在した小さな宿に一泊し、「おかみさんの折り目正しい姿に感心した。宿帳は明治から使っていると聞き、大変驚いた」と当時を振り返った。

六〇年代には金沢市小立野に移り住み、六六年に小説「さらばモスクワ愚連隊」で小説現代新人賞を受賞した。「金沢は作家生活の故郷。これまでいろいろな土地に移り住んだが、いつも思い出すのは金沢だった」と懐かしむ。

「当時は金沢大が金沢城の



県宅地建物取引業協会は二十三日、金沢市内のホテルで、「不動産の日」にちなんだ催し「ふれ愛講演会」を開いた。今年協会の創立五十周年を記念し、金沢に暮らした作家五木寛之さんを招いた。（堀井聡子）

「金沢の住まいと暮らし」をテーマに講演する五木寛之さん＝金沢市内のホテルで

五木寛之さん 思い出語る

敷地内にあり、香林坊も雑然として活気があった。ダイナミックなところこそ、本来の都市の姿では」と自身の思いを話した。

北陸新幹線の開業で観光客が増えているが、「北国ロマンス」として、金沢が美化されている」と指摘。観光客を呼び込むにあたって「内の人が町の歴史などよく知らない」と、外の人に金沢がどんな町か伝えるのは難しい」と訴えた。

五木さんは「金沢あかり坂」「浅の川暮色」など、金沢を舞台にした小説も多く執筆。泉鏡花文学賞の選考委員も務めている。

県宅建業協50周年講演会



加賀・能登の地酒
豊富に取り揃え
とみた酒房

金沢市三馬3丁目199番地
TEL.(076)241-2883
http://www.tomita.sake-ten.jp

報道部 076(233)4613
代表(261)3111
FAX(265)7490
小松支局 0761(22)0343
FAX(22)0200

創立50周年記念し五木寛之さん講演

県宅地建物取引業協
石川県宅地建物取引業協会の創立50周年記念「不動産の日」ふれ愛講演会は23日、金沢市のホテル金沢で開かれ、作家五木寛之さんが「金沢の住まいと暮らし」と題して約300人を前に記念講演した。

学生時代に初めて金沢を訪れた五木さんは地域の変遷について思いを語った。吉本重昭会長があいさつし、齋藤広子横浜市立大学国際総合科学部教授が「これからの住まいのあり方」と題して学術講演した。

平成29年9月24日（日）
北陸中日新聞朝刊第30面